2025 年 11 月 10 日

報道各位　　一般社団法人エジミウソンファンズ・アジア

エジミウソンファンズ・アジア

11/8 にドリームサッカー体験会 in 宮古を久松島民祭にて初開催

元サッカー日本代表 ラモス瑠偉さんがスペシャルコーチに！

サッカーだけではなく、“夢をもつ”楽しさと大切さを伝える！

『経済的な理由のためサッカーを続けることが困難な日本の子どもたちに、サッカーを続ける、夢を諦めないよう』支援のために活動をする「エジミウソンファンズ・アジア」（東京都港区、日本事務所代表理事　林善徹、以下「当団体」）は、2026 年 11 月 8 日（日）に沖縄県宮古市平良の「久松漁港多目的広場」にて、第 5 回久松島民祭の一環イベントとして、サッカーを通じ、子どもたちの夢を応援する無料のサッカー教室を実施致しました。

今回のドリームサッカー体験会 in 宮古は初の試みとなり、久松島民祭実行委員会の協力の下、久松島民祭 2 日目の午後に開催の運びとなりました。

当日は小学生のサッカー経験者、未経験者が共に参加し、ゲストコーチで日本サッカーの礎を築いてきた元日本代表のラモス瑠偉氏、ブラジル人タレントのオジエル氏のサポートの下、サッカー教室を実施しました。

参加した子どもたちは、男児も女児も、低学年チーム、高学年チームに分かれ、ボールに慣れること、ドリブル、シュート、最後にはコーチたちとともに、ミニゲームまで行いました。

ラモス瑠偉氏は参加した子供たちへ、「ルールを守ること」「お母さんを大事にすること」「お父さん、お母さんの言うことをちゃんと聞くこと、感謝すること」というメッセージを送ってくれました。

子どもたちは、サッカーの楽しさだけでなく、夢を実現する、サッカーが上達する上で大切な、基本的な学びを聞く機会となり、また来年も来てほしいという希望の声も多くもらいました。

当団体はコロナ禍より、経済的に困難を抱えるご家庭の子供たちに、「サッカーをやりたい！」「体を動かしたい！」「みんなと夢を話したい！」という『体験機会』を継続的に創出しております。

また、サッカーを通じ、さまざまなルーツをもつ子どもたちが仲間となり、「夢を持つこと」「夢を実現したいという勇気」をもつ国際交流の機会も併せて創出しております。

当団体は地域の社会課題に対し「体験機会の創出」という形で取り組み、サッカー体験を通じて、すべての子どもたちの可能性を広げる活動を続けてまいります。

上記に関するお問い合わせは　imai@edmilsonfunds.com

【スペシャルゲストコーチ】

ラモス瑠偉氏、オジエル氏









FUNDAÇÃO EDMÍLSON
NOSSO SONHO É VIRAR O JOGO

上記に関するお問い合わせは　imai@edmilsonfunds.com

【一般社団法人エジミウソンファンズ・アジア】

日本法人である当団体は、2021 年にエジミウソン・モラエスと林善徹によって設立された、エジミウソン財団の日本事務局。エジミウソン自身が「私が得たようなちょっとした“きっかけ”を作ってあげたい」という強い想いと、コロナ禍の日本で、サッカーを続けることが困難な日本の子どもたちを目の前にした林が、子どもたちの夢を支援するために設立しました。

当団体は、『子どもたちに「夢」を大切にしてもらう』ことをミッションに、ラモス瑠偉氏をはじめとする日本国内のサッカー選手はもちろん、ブラジルのサッカー選手からもサポートをいただき、国際交流もすることで、日本の子どもたちの夢を支援し、サッカー体験教室や返済不要な奨学金制度を実施しております。

すべての子どもたちへサッカー体験による楽しさから、希望をつなげ、夢をもつ多くの子どもたちが世界へ羽ばたけるよう（ポルトガル語で PARAMUNDO パラムンド）、まずは子どもたちの体験の機会、皆様からのご支援を得る機会を創出してまいります。

サイト：https://www.edmilsonfunds.com

note：https://note.com/brainy_elk790/

Instagram： https://instagram.com/edmilsonfundsasia/

【エジミウソン財団】

2005 年にエジミウソン・モラエスによって設立された、在ブラジルの財団。エジミウソンは、ブラジル・サンパウロ州タクアリティンガの貧しい地域で幼少期を過ごし、12 歳の時、草サッカーで遊ぶエジミウソンを見たひとりの男性が彼のプレーに可能性を感じ、サッカークラブに誘われる。クラブで才能を開花させたエジミウソンは、ブラジル代表サッカー選手へと成長し、活躍をすることになるが、彼のサッカー人生には、ひとりの男性による“きっかけ”があった。「私が得たようなちょっとした“きっかけ”を作ってあげたい」。その強い想いが、財団の設立へと彼を動かした。

現在、エジミウソン財団はブラジルをはじめ世界中の子どもたちの夢を支援している。2021 年時点で約 6,000 人以上の子どもたちを支援。エジミウソンファンズ・アジア代表理事の林とエジミウソンの出会いから団体設立に至るまでの物語を、Web サイトでご紹介。

【一般社団法人エジミウソンファンズ・アジア　オリジン・ストーリー】

生涯の友、エジミウソンと代表の林の出会いから当団体設立に至るまでの物語

「Origin Story」はこちらから

https://edmilsonfunds.com/story/

上記に関するお問い合わせは　imai@edmilsonfunds.com

【プロフィール】



エジミウソン・モラエス（Edmilson Moraes）
エジミウソン財団（ブラジル）代表理事、エジミウソンファンズ・アジア（シンガポール）代表理事
元ブラジル代表サッカー選手。2001 年のコンフェデレーションズ杯では代表キャプテンを務め、 2002 年の日韓 W 杯では DF として優勝に貢献。91 年にキンゼ・デ・ジャウーの下部組織に入団し翌 92 年に林と出会う。ブラジルのサンパウロ FC でプロキャリアをスタートさせ、 その後フランスリーグ・アンのリヨンでリーグ 3 連覇を成し遂げ、 FC バルセロナに移籍、クラブ 2 冠に大きく貢献。2011 年の現役引退後は、さまざまな活動を通じてサッカー界の発展に貢献している。



林 善徹（ハヤシ ヨシアキ）
一般社団法人エジミウソンファンズ・アジア（日本）代表理事
スターポリス株式会社代表、PARA MUNDO FUTEBOL CLUBE 代表
地元川崎の少年サッカーチームを経て中学卒業後、単身ブラジルへサッカー留学。 キンゼ・デ・ジャウーの下部組織時代の 1992 年エジミウソンと出会う。ブラジル文化を深く学び、6 年間の留学生活を経て、1998 年「川崎フロンターレ」へ入団。川崎フロンターレ退団後はフットサルチーム“CASCAVEL”（現ペスカドーラ町田）に所属し、第 6 回全日本フットサル選手権大会優勝を経験。2012 年地元川崎に「PARA MUNDO FUTEBOL CLUBE」というサッカースクールを立ち上げる。また、エジミウソンをはじめ、カカら海外サッカー選手の日本国内におけるマネジメント業務に従事。FC SKA と連携し留学プログラムの立ち上げや、アカデミー（FC SKA Academy PARAMUNDO）の立ち上げを推進する。

【今後の取り組みについて】

エジミウソンファンズ・アジアでは、引き続き、サポーターの皆様からのご寄付、クラウドファンディングなどにて募った寄付金をベースに奨学金制度を継続実施するとともに、エジミウソンや本取組みに賛同くださるスペシャルサポーターのラモス瑠偉氏はじめとするサッカー関係者と共に、サッカー教室の開催、日本全国のサッカーに夢を頂く子供たちとのサッカーを通じたふれ合いをしてまいります。そのために継続的に支援してくださる個人および企業サポーターを募ってまいります。また、今年はサッカー体験会の実施を、昨年同様、川崎をはじめ、沖縄、群馬、浜松その他の地域でも複数回実施し、子どもたちの健やかな成長と夢を支援してまいります。



【上記に関するお問い合わせは】
一般社団法人　エジミウソンファンズ・アジア
〒106-0044 東京都港区東麻布 1-23-3 901
広報担当：今井麻恵　　imai@edmilsonfunds.com

FUNDAÇÃO EDMÍLSON
NOSSO SONHO É VIRAR O JOGO

上記に関するお問い合わせは　　imai@edmilsonfunds.com